

夏の軌跡 **第二弾** 憧れ強く ～上がる経験値～

サイエンスダイアログ



大学で研究に携わる外国人研究者のが本校で行われ英語による専門的な内容の講義です。今回の講師は香川大学農学部特別研究員のKhalife Adam先生です。Adam先生は現在香川大学にてアリの社会性についての研究をしています。出身のフランスの話をはじめとして、研究生活についてなど非常に多様な内容についてお話いただきました。

川崎医科大学研究室体験



ご指導いただいたのは川崎医科大学教授の栗林先生、山内先生、准教授の岡本先生です。白衣を貸していただきさわったことのない実験器具を前にして戸惑いながらもワクワクが止まらない様でした。今回はすい臓がんの細胞にさまざまな処理を行った際の細胞の動きを比較検証する実験を行いました。実験装置をセッティングして結果が出るのには数時間かかりましたが、その間を利用して細胞の染色や最高血圧や最低血圧の原理について教えていただきました。研修の最後には2班に分かれて今回の実験内容について発表を行いました。同じ実験結果を用いても2つの班で解釈に差が興味深かったです。先生方からもご質問をいただき、質疑応答の練習もさせていただきました。1泊2日の日程でしたがあっという間に時間が過ぎていきました。

大阪大学研究室体験

小林研究室、バルマ研究室、井上研究室、谷田研究室の4つの研究室で体験することができました。

～参加生徒の感想から抜粋～

- ・研究が成功した時の感動が最高でした。
- ・研究室の雰囲気も明るくて良かった。研究には失敗がつきものだということを感じた。
- ・応用研究の途中で、大きな発見をする可能性があること。高性能の最新機器を使った実験が体験できておもしろかった。実験を通して、実験を成功させる難しさも体感できた。

